

■使用評価マニュアル：北九州市建築物総合環境性能評価制度マニュアル

■使用評価ソフト：CASBEE北九州_2014(v2.0)

1 建物概要

建物名称	(仮称)ゆめマート曾根店 新築工事	BEE	1.3	BEEランク	B+	★★★
------	-------------------	-----	-----	--------	----	-----

2 重点項目への取組み度

重点項目	得点※/満点	取組み度	評価
1 循環型社会への貢献	3.2 /5		ふつう
2 地球温暖化対策の推進	3.9 /5		ふつう
3 豊かな自然環境の確保	2.0 /5		がんばろう
4 高齢社会への対応	3.0 /5		ふつう
※ 対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	
		よい 4 点以上	ふつう 3 点以上
		がんばろう 3 点未満	

3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

使用CASBEE評価マニュアル：CASBEE-建築(新築) 2016年版		使用CASBEE評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v.4.02)	
1 循環型社会への貢献		スコア平均 3.2	
リサイクルに関する配慮 LR2/ 2 非再生性資源の使用量削減		スコア 2.7	長寿命化に関する配慮 Q2/ 2.2 部品・部材の耐用年数
			スコア 3.2
			Q2/ 3 対応性・更新性
			スコア 3.8
解体時、鉄骨躯体と内装材の分別可能かつ容易		更新必要間隔が長い部材を使用し、建物の長寿命化を図っている	
2 地球温暖化対策の推進		スコア平均 4.0	
省エネ・省資源に関する配慮 LR3/ 1 地球温暖化への配慮		スコア 4.9	節水に関する配慮 LR2/ 1.1 節水
			スコア 3
CO2排出率51%		節水コマを用いている	
3 豊かな自然環境の確保		スコア平均 2.0	
生態系保全に関する配慮 Q3/ 1 生物環境の保全と創出		スコア 1	緑化に関する配慮 Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上
			スコア 2
			LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善
			スコア 3
特になし		熱的な影響の低減を図っている	
4 高齢社会への対応		スコア平均 3.0	主な指標
バリアフリーに関する配慮 Q2/ 1.1.3 バリアフリー計画		スコア 3	建物の外皮性能(BPI評価) 非住宅:BPI値、住宅:省エネ等級
			0.87
建築物移動等円滑化誘導基準を満たしている			建物の一次エネルギー消費量(BEI評価) 非住宅:BEI値、住宅:—
			0.47
			外構緑化指数
			0 %
			建物緑化指数
			0 %

:入力欄

:CASBEE-建築(新築)の採点結果から転記してください。

CASBEE®-建築(新築) ■ 評価結果 ■

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ゆめマート菅根店 新築工事	階数	地上1F
建設地	福岡県北九州市小倉南区沼本町4	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、22条地域	平均居住人員	0 人
地域区分	6地域	年間使用時間	0 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年7月 予定	評価の実施日	2024年10月15日
敷地面積	6,048 m ²	作成者	齊藤光樹
建築面積	2,495 m ²	確認日	2024年10月18日
延床面積	2,450 m ²	確認者	01436-28山田治久

外観バース等

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆

標準計算

項目	建設	修繕・更新・解体	運用	リサイクル	オフサイト
① 参照値	100%	0%	0%	0%	0%
② 建築物の取組み	51%	0%	0%	0%	0%
③ 上記+②以外の	51%	0%	0%	0%	0%
④ 上記+	51%	0%	0%	0%	0%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

項目	スコア
音環境	2.6
温熱環境	2.5
光・視環境	3.0
空気質環境	4.2
平均	3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5

項目	スコア
機能性	3.7
耐用性	3.0
対応性	3.8
平均	3.5

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.2

項目	スコア
生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5
平均	2.2

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

項目	スコア
建物外皮の	4.3
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0
平均	4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

項目	スコア
水資源	3.0
非再生材料の	2.7
汚染物質	3.0
平均	2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

項目	スコア
地球温暖化	4.9
地域環境	3.0
周辺環境	2.4
平均	3.4

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
建物を長く使えるように室内環境やサービス性能、景観に配慮した計画を行っている。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境（敷地内）
建築基準法に基づき室内環境の良い計画を行っている。	更新必要間隔が長い部材を使用し、建物の長寿命化を図っている。	空地率や建物高さ、日陰の形成等を考慮し、まちなみにとけこむことを図っている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BEIm=0.47 省エネ化を図るように設計している。	フロン・ハロンの不使用により環境に配慮した。	周辺地域に配慮した計画を行っている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LB1、LB2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される。

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)ゆめマート曾根店 新築工事■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.9	
Q1 室内環境					0.40		-	3.0	
1 音環境				2.6	0.15	-	-	2.6	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	-		
1.2 遮音				3.0	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	3.0	-		
2 界壁遮音性能				3.0	-	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	-		
1.3 吸音				1.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境				2.5	0.35	-	-	2.5	
2.1 室温制御				2.8	0.50	-	-		
1 室温				3.0	0.50	3.0	-		
2 外皮性能				2.0	0.17	3.0	-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.33	-	-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境				3.0	0.25	-	-	3.0	
3.1 屋光利用				3.0	0.50	-	-		
1 屋光率				3.0	-	3.0	-		
2 方位別開口				-	-	3.0	-		
3 屋光利用設備				3.0	1.00	3.0	-		
3.2 グレア対策				-	-	-	-		
1 屋光制御				3.0	-	3.0	-		
3.3 照度				3.0	-	3.0	-		
3.4 照明制御				3.0	0.50	3.0	-		
4 空気質環境				4.2	0.25	-	-	4.2	
4.1 発生源対策				5.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆を全面に採用		5.0	1.00	3.0	-		
4.2 換気				3.0	0.30	-	-		
1 換気量				3.0	0.50	3.0	-		
2 自然換気性能				3.0	-	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	-		
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御		禁煙としている		5.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.5	
1 機能性				3.7	0.40	-	-	3.7	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-		
1 広さ・収納性				3.0	-	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	3.0	-		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				3.3	0.30	-	-		
1 広さ感・景観		売場の天井高3.5m		4.0	0.33	3.0	-		
2 リフレッシュスペース				3.0	0.33	-	-		
3 内装計画				3.0	0.33	3.0	-		
1.3 維持管理				5.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		耐久性に優れた材料を採用		5.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		清掃に配慮した計画		5.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	-	-	3.0	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上材の補修必要間隔				3.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上材の更新必要間隔		ビニルシート(20年)		5.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備				3.0	0.20	-	-		

3	対応性・更新性		3.8	0.30	-	-	3.8
3.1	空間のゆとり		5.0	0.43	-	-	
1	階高のゆとり	-	-	-	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	空間のプランニングの自由度が高い計画	5.0	1.00	3.0	-	
3.2	荷重のゆとり	-	-	-	3.0	-	
3.3	設備の更新性		3.0	0.57	-	-	
1	空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.2
1	生物環境の保全と創出	-	1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	-	2.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.5
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	4.2
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m =0.87	4.3	0.20	-	-	4.3
2	自然エネルギー利用	-	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEI _m =0.47	5.0	0.50	-	-	5.0
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1	モニタリング	-	3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制	-	3.0	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.8
1	水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		2.7	0.60	-	-	2.7
2.1	材料使用量の削減	-	3.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	-	2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	鉄骨躯体と内装材の分別可能	4.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
1	消火剤	-	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	-	3.0	0.50	-	-	
3	冷媒	-	3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.4
1	地球温暖化への配慮	CO2排出率51%	4.9	0.33	-	-	4.9
2	地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
2.1	大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な駐車施設の確保	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		2.4	0.33	-	-	2.4
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音	-	3.0	1.00	-	-	
2	振動	-	-	-	-	-	
3	悪臭	-	-	-	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		1.6	0.40	-	-	
1	風害の抑制	-	1.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制	-	1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	3.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2016年版

(仮称)ゆめマート曾根店 新築工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	2.0		○	○	-	-	○	-	○					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	10.0		○	○	○		○	○	○	○	-	○	○	○	
1.3.2 維持管理用機能の確保	11.0			○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
2.4.1 空調・換気設備	1.0		-	○	-	-	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	○	-	-	-	-							
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	2.0		-	-	○	○	-	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	-	-	-	-	1.0							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		-	-	1.0	-	-	1.0	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	1.0		-	1.0	-	-	-	-	-	-	-				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無				-											
2.1 材料使用量の削減	1.0		-	1.0	-										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○		-	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	11.0		1.0	1.0	2.0	2.0	-	1.0	1.0	2.0	1.0	-			
2.3.3 交通負荷抑制	3.0		1.0	-	1.0	-	1.0	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		1.0	1.0	1.0	-		-							
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	2.0		-	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)	-												
U値(W/m ² K)	窓システム	-	屋根	-	外壁	-	床	-							
住戸部分	窓システムU値	-	外皮UA値	-	η AC	-	η AH	-							
昼光率	0.0%														
自然換気有効開口面積率	0.0%														

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

執務スペース	.0㎡ /人	病床	.0㎡ /床	シングル	.0㎡ ツイン	.0㎡
コンセント容量	0.0 VA/㎡					
天井高	3.5 m					
リフレッシュスペース	%	レストスペース	2.0%			
想定耐用年数	0 年					
想定必要間隔	20 年					
想定必要間隔	0 年					
想定必要間隔	0 年					
階高	0 m					
壁長さ比率	8.0%					
床荷重	- N/m ²					

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

外構緑化指数	0%	建物緑化指数	0%												
空地率	41%	水平投影面積率	0%	地表面对策面積率	0%	舗装面積率	58%								

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

BPI/BPI _m	0.87	断熱等性能等級	等級2 相当												
自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%										
		通風を満たす教室数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%										
BPI/BPI _m	非住宅 0.47	住宅	-	太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW						

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

雨水利用率	0.0%														
特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-										
使用比率	0.0%														
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)													
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)													
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)													

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	48%	隣棟間隔指標Rw	0.42												
地表面对策面積率	0.0%	屋根面对策面積率	0.0%	外壁面对策面積率	0.0%										
見付面積S _b	345㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	112 m	基準高さH _b	6.35 m										
緑地	㎡	水面	㎡	保水性対策面	㎡	高反射対策面	㎡	再帰性反射対策面	㎡						